



SOHOT Consortium

公共空間の情報化について「スマートな公共情報環境を考える会」と協力
記念フォーラムとコンテストを開催

研究プロジェクト名： SOHOT コンソーシアム

担当研究者： 齋藤 信男（常任理事 環境情報学部教授兼政策・メディア研究科委員）
渡邊 朗子（政策・メディア研究科専任講師）

キーワード： Information, public space, design

「慶應義塾大学 SOHOT コンソーシアム」は、慶應義塾大学と複数の国内有力企業で構成され、2010年のライフビジョンと生活環境デザインを創造することを目的に研究活動を進めています。

SOHOT の描く将来の生活像とは、個を中心としたパーソナルな力が生きる「生活世界」です。特に、現代のITに支援された個業の象徴的な働き方としてSOHOおよびテレワークに着目し、マクロな視点に立って、将来のライフ・ワークスタイルとはどのようなものなのか、人間によりふさわしいかたちでITと環境が融合する生活環境はどうあるべきかについて、ビジョンを提示することを目指しています。

SOHOT では、特に公共空間の情報化について「スマートな公共情報環境を考える会」と特別協力して、公開型のデザインコンテストを開催することになりました。その記念フォーラムとコンテストの概要について紹介します。

フォーラム概要

・タイトル

第1回 スマートIT デザインコンテスト開催記念フォーラム 「スマートな公共情報環境を考える」

・テーマ

これからの公共情報環境における「デザイン」「テクノロジー」「ビジネスモデル」「マナー」「ルール」等の新しいスタイル

・開催日時

2001年9月27日(木) 開場 14:30 開演 15:00 終了 18:00

・会場

慶應義塾大学 三田東館内 G-SEC

・定員および入場料

先着 100名、入場料無料

・プログラム

15:00 開会挨拶 : 渡邊 朗子 : 慶應義塾大学 政策・メディア研究科専任講師

15:10 記念講演 : 小川 克彦 : NTT サイバーソリューション 担当部長

「公共情報環境とコミュニケーション」(仮)

16:15 パネルディスカッション

「パブリックスペースにおける“ヒトと情報のスタイル”」(仮)

システム・ビジネスモデル・デザイン・テクノロジー・マナーが向かうもの

<パネリスト>

松本 充司 (早稲田大学モバイル環境システム研究所所長)

水口 哲也 (ゲームプロデューサー)

渡邊 朗子 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科専任講師)

小川 克彦 (NTT サイバーソリューション 担当部長)

参加方法

参加希望の方は、9月25日(火)正午までに、下記のメールアドレス宛て、住所/名前/電話番号/会社・学校名/メールアドレスを記載の上、参加希望のメールをお送りください。希望複数参加の場合は、それぞれお書きください。

送付先 : Yamazaki Kaoru<kaoru622@sfc.keio.ac.jp>

スマートIT デザインコンテスト概要

本コンテストでは、IT時代ならではの「公共情報環境」という新しい概念をみなさまとともに考えてゆくため、さまざまな「デザイン」「テクノロジー」「ビジネスモデル」「マナー」「ルール」などの新しいスタイルのアイデアを募集いたします。

今後ますます発展し便利になるであろう「情報通信」の世界、しかしながら便利すぎる故の不具合が生じてきていることも事実です。

私たちはそれを乗り越え、新たな世紀にふさわしい「公共情報環境」を確立してゆかなければなりません。みなさまの参加をお待ちしています。

・テーマ

公共空間における「10年後の情報通信・情報生活」について想像を巡らせながら、その時代にふさわしい、ヒトと情報が集まる「情報オアシス」ともいべき新しいスタイルについて考えてみてください。

・コンテスト概要

「公共情報環境」という考え方を踏まえた、さまざまな「デザイン」「テクノロジー」「ビジネスモデル」「マナー」「ルール」などに関する新しいスタイルのアイデアを募集します。

対象部門は、「技術者・研究者・デザイナーの部」と「一般の部」および小・中・高校生を対象とした「絵画・作文コンクール」の三部門となっています。

・応募締め切り

三部門とも平成13年11月10日着分まで

その他コンテストの詳細については、別添付の配布資料をご覧ください。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

広報担当 : orf-press@sfc.keio.ac.jp